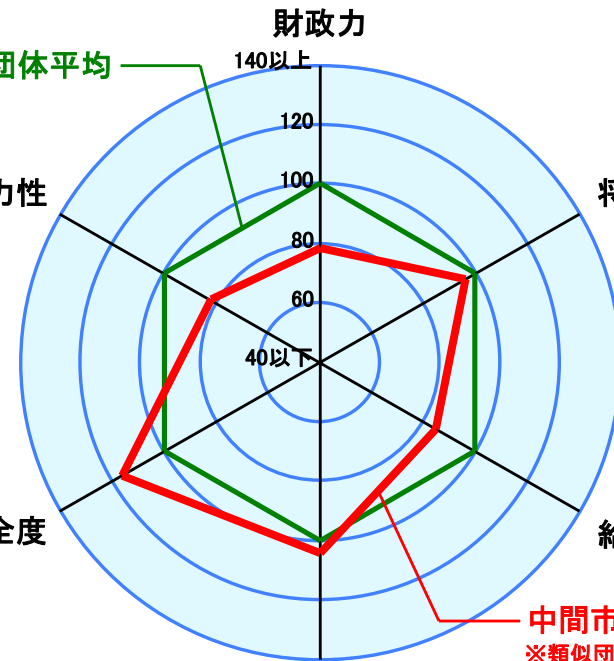


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

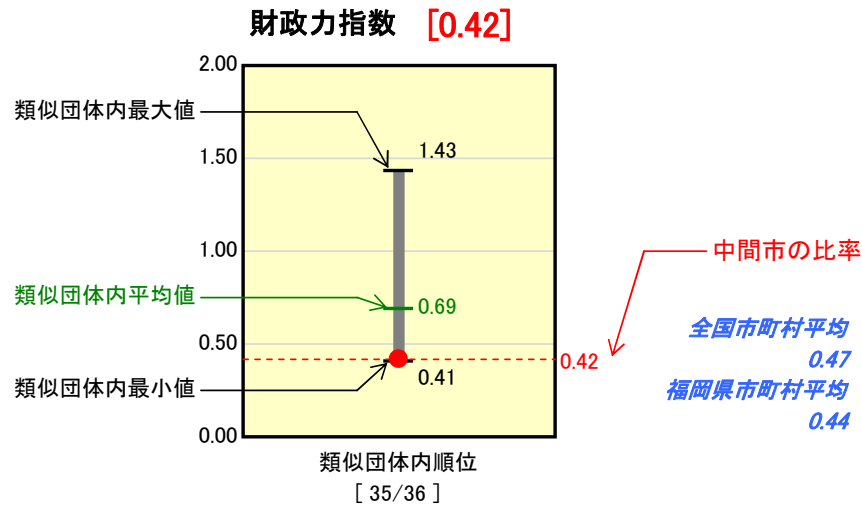
## 福岡県 中間市

人口	48,094 人(H17.3.31現在)
面積	15.98 km <sup>2</sup>
歳入総額	16,988,469 千円
歳出総額	16,897,155 千円
実質収支	89,463 千円

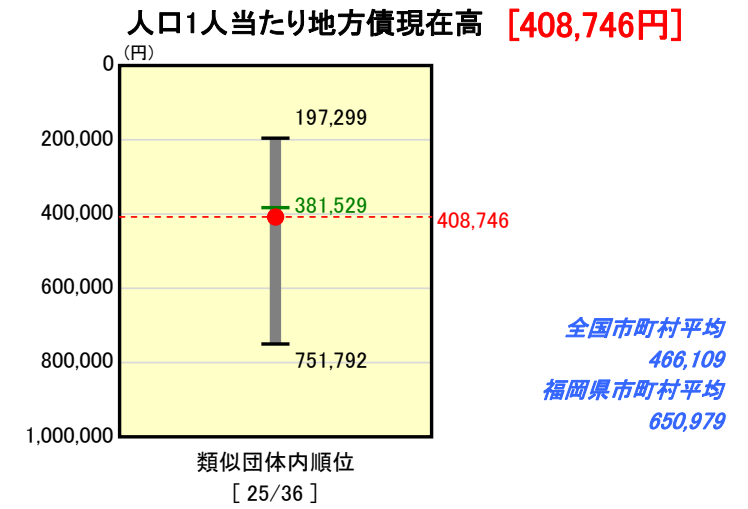


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

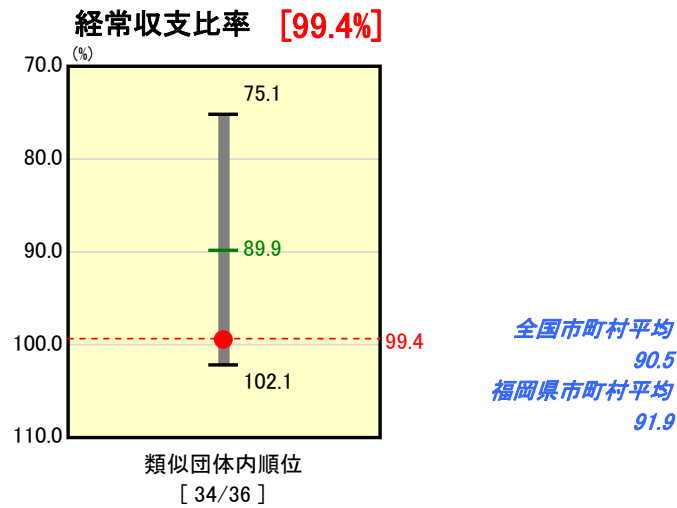
### 財政力



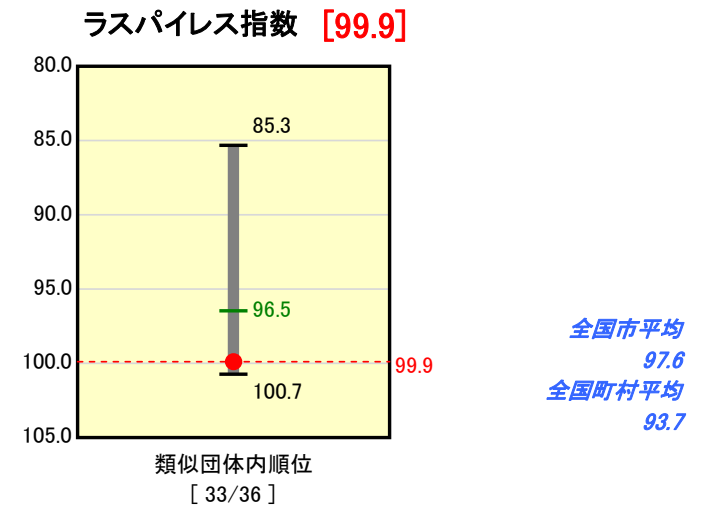
### 将来負担の健全度



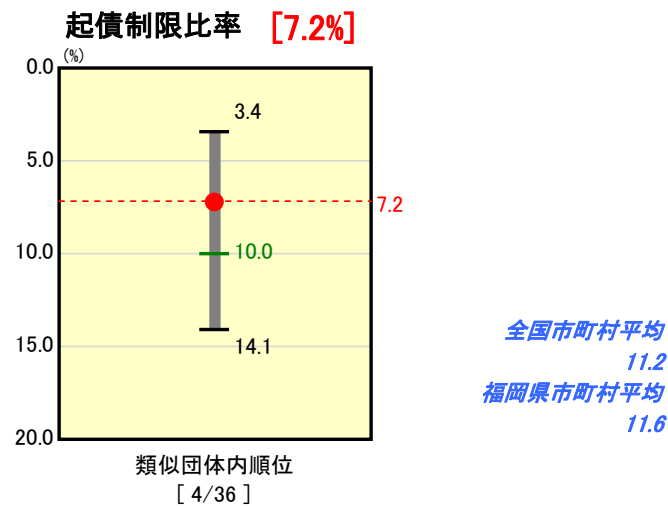
### 財政構造の弾力性



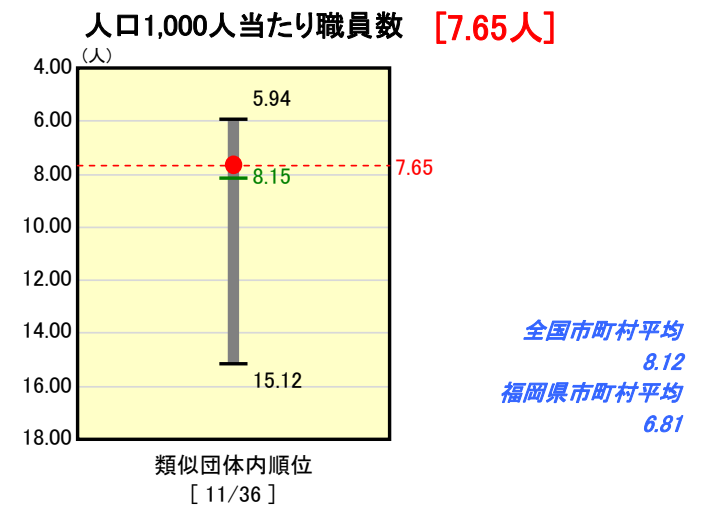
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

○財政力指数  
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年度末24.9%)に加え、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。歳入については、事務事業の民間委託を積極的に進め、行政コストの削減を図り、また、経常経費を中心に歳出全般の徹底した削減を行う。歳入については、各種料金体制の見直し、徴収率を上げるため徴収体制を強化する。さらに、地域経済の活性化と雇用機会の増大のため、産業振興と企業誘致を図る。

○経常収支比率  
人件費の削減を図るため、平成22年4月1日までに職員数を15%削減し、特殊勤務手当の見直し等給与の適正化を行う。全ての事務事業について客観的な基準に基づく評価を行い、優先度の低い事業について計画的に廃止・縮小を進め経常経費の削減を図る。

○起債制限比率  
大型投資事業の取捨選択の結果、類似団体平均を下回っているが、今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

○人口1人当たり地方債現在高  
類似団体平均をやや上回っている主な要因として、平成8年度、13年度に実施した大型プロジェクト(ハーモニホール、総合福祉会館建設)等であるが、14年度以降は大型の新規発行債の抑制を行っており今後も引き続き財政の健全化に努める。

○ラスパイレス指数  
職員の平均年齢が高い等のため、類似団体平均を上回っている。今後給料表を見直し、職務・職責に応じた給与構造への転換を図るとともに、各種手当の見直しを行うことにより給与の適正化に努める。

○人口1000人当たり職員数  
平成16年度から新規採用を実施してなく、またその以前からの新規採用抑制策から平成8年度と比べ約10%の職員を削減していることで類似団体平均を下回っている。さらに、平成17年4月1日から平成22年4月1日までに職員数の15%削減を図る。